

4. 馬頭観音・畜魂碑など ～共に汗した牛馬などへ感謝～



稔神社境内 馬頭観世普

家畜などへの畏敬と追悼

(1). 市街中心地域 西

～ 緑が丘地区 八大龍王境内 ～

岩見沢農業高校敷地内

馬頭観世音堂

馬頭観世音の由来

畜魂碑



～ 岩見沢神社境内 ～

東山町地区 本妙寺境内

馬像

牛像

南無馬頭観音石碑



(2). 市街中心地域 東

日の出町地区 相馬神社境内

1 1 条東 1 長高寺境内

獣魂碑

馬頭観世音像



(3). 幾春別川右岸地域

稔町地区 稔神社境内

馬頭観世音像



馬頭観世音石柱



西川町地区 道々美唄達布線
馬頭観世音・交通安全祈願石柱

大願町地区 大願神社境内
御神馬像



(4). JR 函館本線沿線～幌向川下流沿岸地域

双葉町地区
双葉町内会館敷地内

幌向南地区
樽見川傍 安川宅敷地内

御茶の水町地区
御茶の水神社境内

馬頭観世音石柱

馬頭観世音石柱

馬頭観世音像



幌向南地区 善光寺境内

馬頭観世音



上幌向地区 利根別川左岸沿い

馬頭観世音堂



(5). 幌向川上流沿岸地域

朝日地区 朝日不動明王堂境内

馬頭観音石柱



～ 美流渡地区 安国寺境内 ～

馬頭観世音 I



馬頭観音像 II



美流渡地区 美流渡本町 5 4

美流渡馬頭観音堂



美流渡地区 錦園敷地内

馬頭観世音



万字地区 二見町

万字炭鉱馬頭観音



万字地区 八大龍王万字教会敷地内

八大龍王馬頭觀世音堂

馬頭觀音の由来

凡そ神の道、仏の道、動植物の道、人の道は社会進化向上に於て不可欠の道で四方の道と謂い、これを尊敬し勸業することによって社会を浄化し真の光明を顕現し得るものである。然るに世人は神仏人の三道は野を尊敬し勸業して居るも、動植物の道だけは一般に等閑に附し、昔から動植物の諸霊を「馬頭觀世音」として祀



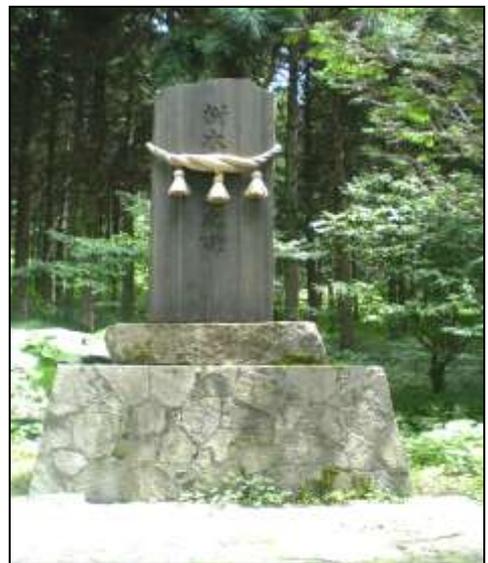
るにも拘らず、一般に「馬頭」とは馬の頭を祀ったもので馬に関係するものだけがお祭りするものであると、誤解して居ることは実に残念である。人間以外の動植物が直接、間接、社会に貢献し死後までも毛、骨、皮として用いられて居り、殊に馬は山野の開拓に、田畑の耕作に、荷物の運搬に凍る冬期にも、炎暑の真夏にも骨身を惜しまず献身的な労役は、機械文明の魁となり、その功績は馬力と後世に名を残した意味は深いにも拘らず、此の諸霊魂祀りに気付いていない事は誠に遺憾である。馬頭觀世音とは、宇宙創造の神八大龍王の大慈悲を顕現され、ここに馬を筆頭として普く動植物一切の霊魂の成仏できるよう神様は馬頭觀世音にお力を与えたにより即ち馬頭觀世音とは動植物一切の諸霊の総称の意味に付されたる名称である事を充分理解してもらいたい。万物の霊長たる私達は以上諸動物の社会、人類に貢献する事実に意を注ぎ常に「馬頭觀世音」を拝礼し、至誠至純以て之を慰勞し成仏せしめる事が一面我々人類の義務であることを深慮するものである。

万字地区 孝禅寺裏山手

及川樹木慰靈碑

碑文

私の父母が郷里岩手県から大正の初期、この地を開拓し居住し農業を営んでいましたが昭和の初期より道庁（岩見沢林務署）から立木の稼業用山として共同払下げを受けて、共同経営をして参りましたが戦時中はもっぱら軍需材の生産に協力して参りました。昭和二十年八月終戦後登録木材業として専念して参りもっぱら戦後復旧の家屋建築材石炭産業に必要な坑木材薪炭材等の生産をして参りました。顧みまするに樹木草根皆生を受けているもので業とはいえ成木幼木の区別なく樹木の生命を断ち切るとは誠におそれ多くこの幾多の樹木の霊に対し心からお詫び申し上げると共に冥福を祈るものであります。殊にこの機会に加えて、長年林業にたずさわっている間に尊い二人の青年の人命と二頭の貴重な馬を犠牲にしましたことは誠に申し訳なく何時までも心の奥に残っているのであります。あなた方の貴重な業績を讃えますと共に永くその御霊を慰めたいと存じます。安らかにお眠り下さる様お祈り致します。



昭和四十八年三月

及川 秀次郎

万字地区 樹木慰靈碑傍 万字地区 孝禅寺境内

毛陽地区 大平

及川馬頭觀世音 第二十九番馬頭觀世音

山崎樹木慰靈碑



(6). 栗沢町地域

本町地区 栗沢神社境内

栗丘地区 北家敷地内

栗丘地区 栗丘神社境内

馬頭觀音之碑

北家馬頭觀音

馬頭觀世音像



北斗地区 豊栄神社境内

加茂川地区 加茂川神社境内

上幌地区 上幌神社地先

馬頭觀音石柱

馬頭觀世音石柱

馬頭觀音像



栗沢神社境内

栗沢神社御神馬像

昭和二十四年九月再建



家畜報恩乃碑

昭和五十一年十一月吉日

栗沢町畜産振興会 建立



(7). 北村地域

豊里地区 平野宅地先
馬頭観世音石柱



美唄達布地区 諏訪神社境内
馬頭観音像



赤川地区 赤川開拓線沿い
馬頭観世音石柱



砂浜地区 幌向第3ライスセンター地先
馬頭観音像

